

審 議 会 名	令和5年度 第2回杉戸町障がい者福祉計画推進懇話会
開 催 日 時	令和5年10月19日(木) 午後1時30分～3時00
開 催 場 所	杉戸町役場文書保存庫第1会議室
会 議 の 議 題	(1) 第6次杉戸町障がい者福祉計画に関するアンケート調査結果について (2) 第6次杉戸町障がい者福祉計画(素案)について (3) その他
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開(公開の場合傍聴者数 6人) (非公開の場合理由)
出席委員氏名	間宮佐 委員 須田恒男 委員 星野百合子委員 戸田愛子委員 青木一子委員 中島泉委員 柴田周子委員 猪股ふじ江委員 岩上洋一委員 田中佳世委員 稲垣良行委員
審議の概要	1 議題
	(1) 第6次杉戸町障がい者福祉計画に関するアンケート調査結果について (2) 第6次杉戸町障がい者福祉計画(素案)について (3) その他
	2 主な意見
	1) 第6次杉戸町障がい者福祉計画に関するアンケート調査結果について 委員) 杉戸町においても自主防災組織等で災害時のサポート方法についての議論を積み重ねていくことが重要である。地域ごとに差があることは認識しているが、行政が計画的なものを作って地域に教示していくことが必要であると感じる。 事務局) 具体的に書き示していないが、自主防災組織の充実等、防災意識を高めるための訓練や事業展開について、関係各課と協議の上記載していきたい。

(2) 第6次杉戸町障がい者福祉計画(素案)について

委員)

基本理念について「障がいのある人もない人も、ともにいきいきと輝き 安心して暮らせるまちづくり」という文言を外し「共生社会の実現に向け、あらゆる活動に参加し、安心して自分らしく暮らせるまちづくり」に変更した理由を知りたい。

事務局)

国が定める第5次障害者基本計画の基本理念は「共生社会の実現に向け、障害者が、自らの決定に基づき社会のあらゆる活動に参加する」ということを謳っている。障がい者が最大限能力を発揮して自己実現できるよう支援するのが相応しいと考える。障がい者の社会参加を制約する社会的障壁を除去するための施策を基本的な方向性として定めるにあたり、基本目標も5つから4つに統合した。第5次まで約10年近く「障がいのある人もない人も、ともにいきいきと…」という理念を掲げて推進してきたが、時代背景や社会情勢の大きな変化も踏まえ、新しい基本理念を掲げたいと考える。

委員)

文面だけ見ると、自己の努力を前面に出しているように感じる。就労先等、杉戸町は積極的に支援していると思う。国の理念を踏襲することも理解できるが、杉戸町の障害福祉計画であるので、国の文言に合わせる必要はないというのが私の意見である。

事務局)

国の基本理念をそのまま真似るというわけではないが、様々な意見があると思う。

基本理念は、他の自治体を見ても抽象的なものが多いような状況である。

書面にて事前に修正案の資料を送付し、各委員で考えをまとめていただくような方向で進めたい。